

## 授業概要

日本人ほど憲法をよく知り、崇拜する国民はいないといわれる。しかし、これほど現実の政治や国民生活に影響を与えない法はない。その意味からは憲法への理解が薄い面もあるのかもしれない。だが、国会での憲法改正議論が始まり、憲法改正議論が具体化する状況において、改憲、護憲以上に憲法をきちんと理解する知憲という視点が必要なのではなかろうか。そのような点から、改めて憲法をとらえ直す機会となる内容を講義する。

## 授業計画

第1回	国家と憲法 一立憲主義と憲法
第2回	日本国憲法の成立 一憲法の制定過程
第3回	国民主権と象徴天皇制 一日本国憲法における象徴天皇制とは
第4回	平和のうちに生きる権利 一憲法9条について考えてみる
第5回	人権とは 一アイドルの恋愛から考える幸福追求権
第6回	言論の自由 一わいせつ文章はなぜ規制の対象となるのか
第7回	人身の自由と適正手続きの保障 一黙秘権はなぜ必要なのか
第8回	教育権と学問の自由 一教育権とは何なのか
第9回	生存権 一生存権は憲法で認められた権利なのか
第10回	結婚と法 一平等権、幸福追求権から考える
第11回	憲法違反とは 一どのような基準があるのか
第12回	国会 一国権の最高機関としての国会
第13回	行政 一議員内閣制とは
第14回	司法権と地方自治 一違憲立法審査権の内容
第15回	憲法改正 一人権を制約する改正は認められるのか
第16回	試験（筆記）

## 到達目標

憲法の存在意義と他法との相違点、戦争の放棄にみる 正義>平和論、人権侵害の私人間効力と不法行為論、人権保護と統治権の制限等に注意しながら、公正で論理的な憲法改正論議が出来る。

## 履修上の注意

日本国憲法については多くの出版物があり、また、憲法をめぐる裁判の報道も多々見受けられる。そのため、憲法に関する本及び日々のニュースに目を向けることを習慣づけるようにしてほしい。なお、授業計画は、実際講義を進める上で内容や順序を変更することがある。

## 予習復習

予習として、テキストや新聞報道等から現在憲法について何が議論されているのかを考えてみること。復習としては、講義を聞いて憲法の目的を知るために、不明な部分をよく調べてみること。

## 評価方法

定期試験（80%）のほか、授業中の小テストまたはレポート課題（20%）などの実施で評価を行う。詳細は講義のなかで指示する。

## テキスト

- ・教科書名：『憲法のおもしろさ（第3版）』（北樹出版） ISBN：978-4-7793-0596-2
  - ・著者名：山本聡・渡辺演久
- ※その他に、講義で使用するプリントを毎回配布する。